

学習希望者の声から (原文のまま)

毎日、日本語学習をしたい人達から数多くの問い合わせメールが、TNVN ホームページ「ボランティア日本語教室ガイド」を通して掲載団体に送られています。

「日本へ来たもう4ヶ月くらいなんですが、なかなか日本語がうまくならないのでボランティアに参加すれば日本語がうまくなりそうだと思ってメールの送ります。ひらがなとかカタカナの読み書きくらいはできますがまだ、漢字の読み書きとか会話が全然できないですが、このボランティア参加できますか？このボランティア参加すれば何をしますか？例えば日本語の文法とか会話を学びますか？そしてホームページを覗けば毎週月曜日だと書かれています。他の日は参加できませんか？やっぱり会社員だから週末がいいと思っております。また、日本語が下手ですので文法とか文章の中に間違えて部分があると思っております。理解してください」

「私の妻(タイ人)が身近な場所で日本語を学べる場所はないかと調べているうち、貴教室のことを知りました。お手数ですが、貴教室の活動内容につきお教え下さい。特に聞きたいのは以下の3点です。 使用教材 現在の生徒数 生徒の国籍 以上、お忙しいとは存じますが、お返事頂けますようお願い申し上げます。」

ガイドの作成

最新版「ボランティア日本語教室ガイドTOKYO 2008」を発行する事となり、2007年7月から都内で活動をしているボランティア日本語教室団体に掲載を目的に調査を致しました。

調査の趣意書には「東京都の外国人登録者数は2007年には37万人を超え、定住化が進み、国際結婚の家庭も増えています。...日本人との交流を求める人も多くいます。...日本語が不自由なため日本人に自分の意志を十分に伝えられない人達が

大勢います。彼らは日本語での会話が早く上達し、一日も早く日本人と共に地域での安定した生活が出来る環境を望んでいます。そのために多くの外国人が日常生活に密着した日本語学習の場を求めています。

...これらの人達の学習支援の一助として都内で活動しているボランティア日本語教室を紹介するため、冊子「ボランティア日本語教室ガイドTOKYO 2007」を作成します。」と記して協力をお願いしました。

そして、2004年版掲載団体に加え、新たに調査に協力戴いた団体も含めて、2008年版には193団体241教室を掲載することが出来ました。

調査後校正の段階で変更等新しいデータを戴きましたので“2007”を“2008”としました。

「ガイド」を活用して下さい

2008年版には、東京都で活躍する日本語ボランティア団体(グループ)の大半が掲載されています。また、日本語学習支援の中で活動に役立つ情報も多く加えました。

「ガイド」は、都内公共施設の外国人窓口、ボランティア日本語教室をはじめ、外国人が大勢立ち寄り場所に配布し、ボランティアによる日本語の学習支援を求める人達に、ボランティア日本語教室の紹介を願います。

最後に

調査から掲載内容の校正まで、それぞれの団体にご協力を戴きました。

発行資金には、東京ボランティア・市民活動センター「ゆめ応援ファンド」の助成金と、TNVN会員から戴いている貴重な会費を当てています。

(梶村)



「ボランティア日本語教室ガイド 2008 東京」が発行されます。

語ってくれる絵を

絵を描いてより豊かなコミュニケーションを



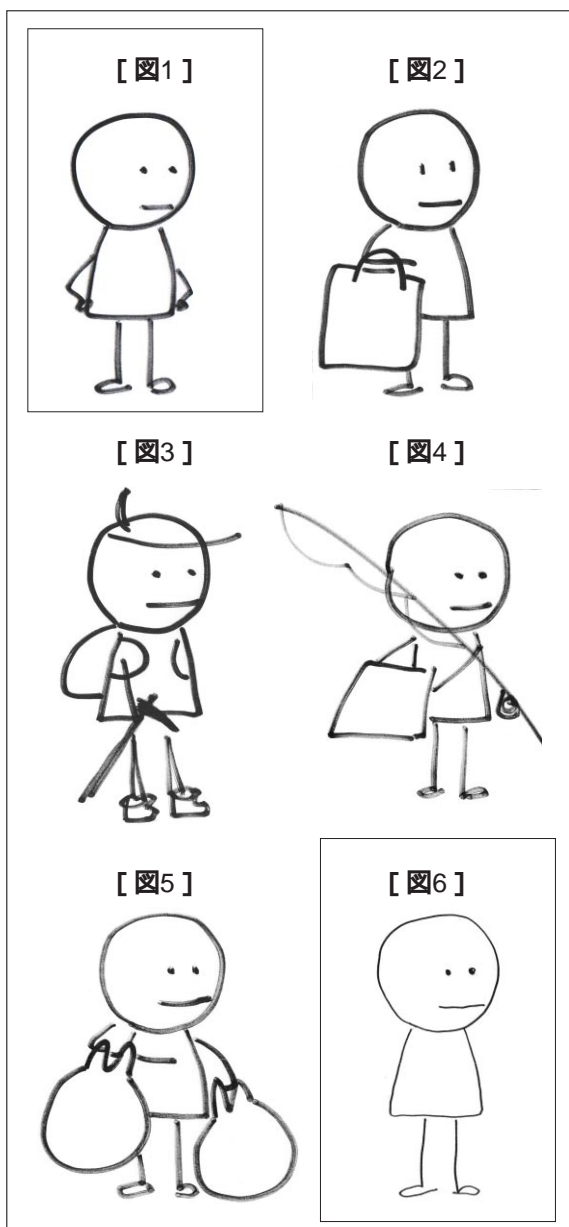
寄稿

日本語教師(東京大学・日本大学)

金子 広幸

東京大学大学院工学系研究科、同留学生センター、日本大学非常勤講師、松戸市国際交流協会日本語ボランティア会。著作に『にほんご敬語トレーニング』アスク2006年他

クラスでは、的確に状況を伝えたいときがある。そんなときには視覚教材で瞬時に複雑な状況を伝えたい。写真や映像では現実的過ぎて、強調したいターゲットにズームアップすることができないが、その点絵はより焦点を絞って提示することができる。視覚で得た情報は臨場感を生み、笑いや苦しみ、痛みや雰囲気、時にはほかの五感を導くことさえもある。



「んです」で私がよく使う絵をご紹介します。図1をまずしばらくご覧いただく。そして図2以下をゆっくり順番に図5まで見ていき、そしてまた図1に戻っていただきたい。

絵が語る情報が多くなるのは図2以降で、図1は見ているほうも思考が止まって「・・・」と無言状態になってしまうのがよくわかる。

もう一度図2から見てみよう。この人物は「カネコさん」という名前なのだが、買い物袋を持たせただけで瞬時に「あ、これは買い物」とわかる。図3は登山で、図4なら、質問は「これから釣りなんですか」「どこでよく釣れるんですか」や、「今日はどのくらい釣れたんですか」など釣果を問うものまで出てくる。図5にはさらに刺激される。「今日はスーパーが安いんですか」も出るだろうし「奥さん、病気なんですか」というものもあるかもしれない。

実に絵はよく語ってくれるものだ。ここで気を付けなければならないのは、学習者の文化背景によって表出するイメージが異なることなのだが、話題の火付け役になることは確かだ。

なぜか私たちは、同じ方向を向き、同じ目線の人物を同一人物だと思う傾向があるらしく、クラスでこの絵を見せたとき、全員が、それぞれの情報に合わせて「カネコさん、今日は・・・んですか」と尋ねていた。この坊主頭に3頭身の人物でも人格を与えられるから不思議だ。

そう思わせたタネ明かしをしよう。図1から図5は実は図6のような下絵をまず描いて、そこに一枚紙を重ねて、状況のアイテム(たとえば買い物袋)を書き込んでバランスを見て、それから、改めて人物の輪郭などを描き足す方法を取っている。

皆さんも、ぜひ絵を描いてパートナーと豊かな交流をしていただきたい。2人の間に一枚の紙、鉛筆があったら、文字だけでなく、絵に筆を走らせ、お互いの心を伝える道具にしてほしいと考えている。

ボランティア日本語教室の活動状況 1

東京ボランティアネットワークでは2007年度の活動の一つとして、この1年「日本語教室一覧 2008 東京」の作成をすすめてきました。

作成作業のなかで日本語教室の活動状況についても、あわせて調査を行ってまいりましたので報告をいたします。皆さんの活動されている状況と照らし

合わせ参考にさせていただければと考えます。なお、調査団体(教室)数は193団体、241教室

図-1 活動曜日

活動日は、区部は火曜日から土曜日、市部は水曜日、土曜日が多い。区部・市部の活動日は前回(2004)より増加しているが、市部の増加が著しい。

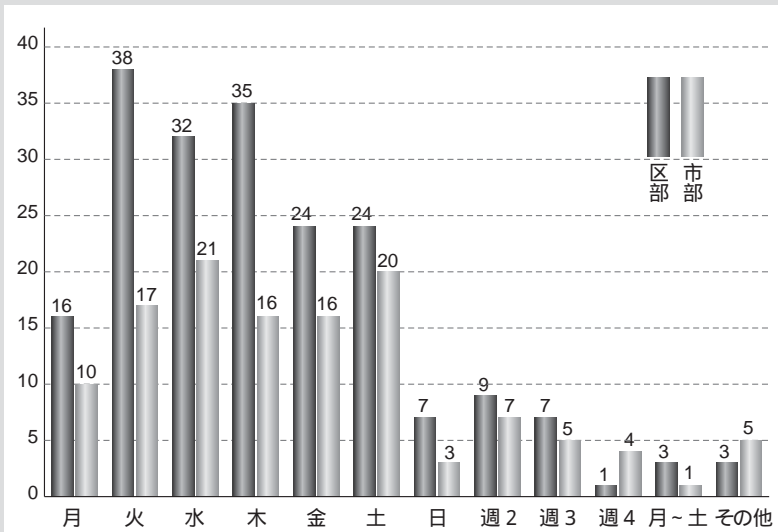


図-2 曜日における活動時間帯

各曜日とも午前の活動時間が1/2を占めています。

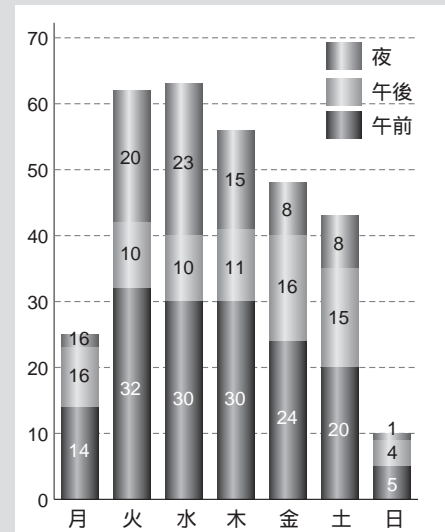


図-3 学習者国別内訳

区部・市部とも一部を除き、同様の傾向を示しています。

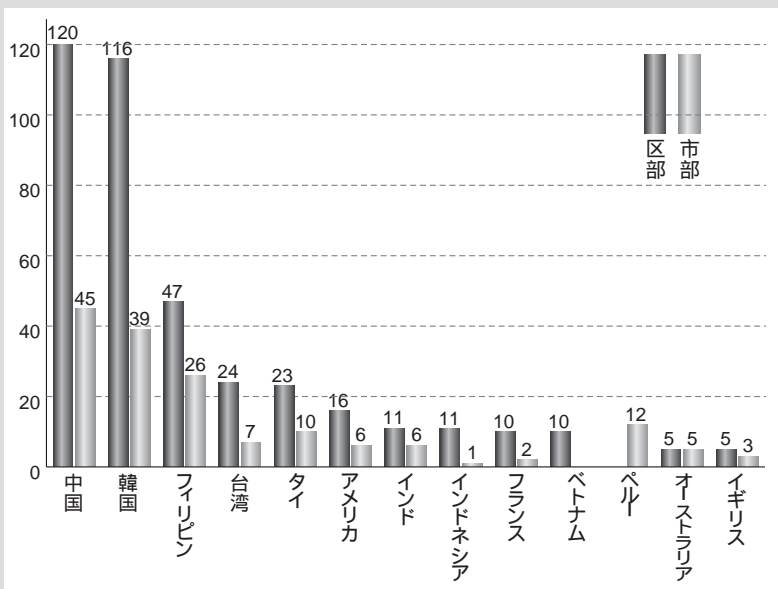
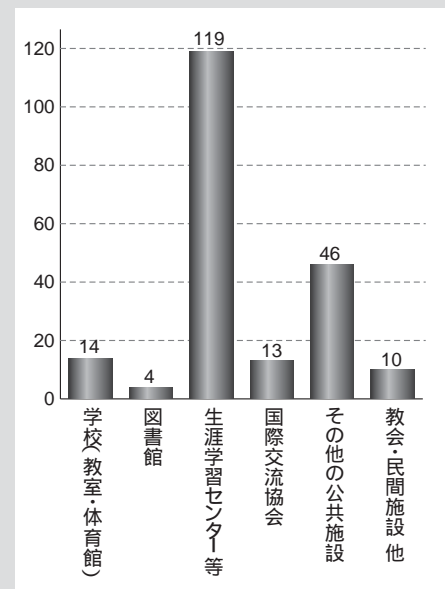


図-4 活動場所(会場)

公民館・生涯学習センター等公共施設の利活用が大多数です。



国分寺市国際協会の活動

国分寺市国際協会 事務局長 若島 礼子

国分寺市国際協会(略称 KIA)は1991年創立で、今年で17年になります。設立当初より、相互理解、市民としての平等、相互互恵の3つの理念を掲げ、外国人市民との交流や地域での国際相互理解を図るために、各種のボランティア活動を行なっています。



会員数は約420、活動は6部会(国際理解部会、交流部会、協力支援部会、日本語教室部会、外国語部会、広報部会)が主体で、各部会の構成メンバーは10名~30名です。また、協会全体で取り組む活動として、日本語支援ボランティア養成講座の開催や都内リレー外国人のための専門家相談会などを行っています。

本協会は国分寺市によって設立された団体ということもあり、協会の公共性に共鳴して入会するケースも多く、リタイアした方々の地域デビューの場にもなっています。協会活動は、企画から実行まですべて会員によって行われます。このことが会員のモチベーションを刺激し、自主・自立性を高めています。その一方で、共通理解や合意形成に時間がかかりますが、活動が成就したときには、チームワークの成果に

大きな達成感と喜びが得られ、会員の結束がなお一層強まります。

本協会では、日本語教室を週に2回(毎週水曜日夜間・金曜日昼間)開催しています。夜間教室は学習者とスタッフが各30名、1対1対応です。昼間教室は学習者20名とスタッフ10名でグルーブレッスンをしています。学習者には幼稚園児、小学生、中学生、高校生も含まれます。児童・生徒には日本語ばかりでなく母語や教科学習のサポートもしています。また、日本語教室に参加できない場合は個別対応もしています。

昨年度、文化庁から「地域日本語教育支援事業(連携推進活動)」を委嘱され、地域の団体や個人の参加と協力を得てシンポジウムを実施しました。外国人の置かれている状況を理解し、日本人にとっても外国人にとっても安心して暮らしやすい

地域づくりのために、「こんにちはからはじめましょう」と、今日からできる地域活動を提言しました。Think global、Act localの実行です。これを受けて、今年度は日本語地域連携連絡会を組織し、日本語教室関係者を中心にネットワークを作り、地域情報の

交換を行っています。

昨年末、チリに転居した会員からメールが届きました。彼女は数年前に本協会で小学生に日本語とスペイン語のサポートをしていましたが、少年はアルゼンチンへ帰国し、彼女はチリへ転居しました。3年後の昨年末、その少年に会いにブエノスアイレスへ行ってきたというのです。日本語も母語も不十分で自己表現できないでいる少年でしたが、スペイン語がとても上手になっていて、日本語の質問にスペイン語で返事をしてきたとのこと。添付された写真には逞しい南米の青年が写っていました。協会の活動がこうして地球の反対側にまでつながっていると思うとうれしくなります。

多くの会員の献身的なボランティア精神に支えられて、国分寺市国際協会は本日も活動しています。



ブカレスト大学（1989年この大学前広場で学生中心のデモ集会が発端となり革命へ）



統一大通り（国民の館前にある統一大通りと高級アパート）

私は2003年秋に日本人と結婚して、来日4年目を迎えることが出来ました。日本に住んで気づいた事ですが、私の国ルーマニアと日本との習慣の違いは多くありますが、「コミュニティを大切」にすることや「場の雰囲気」を読むところ、「相手の気持ち」を思いやる事など基本は一緒です。

日本人の多くがルーマニアといえば、モントリオールオリンピック体操競技で活躍したナディア・コマネチや共産主義独裁政権者チャウセスクに関しては良く知っていますが、その他のことはあまり知らないようですので、ここで紹介したいと思います。

ルーマニアの国土は日本の本州とほぼ同じ大きさ。人口は2,150万人で、首都ブカレストの人口は約200万人ですので、いずれも日本の約6分の1位です。

名前の由来は、ルーマニアの地はかつて古代ローマ帝国の一部であり、「ローマ人の国」という意味からルーマニアと呼ばれるようになったと言われています。

日独伊3国同盟と連合国との陣営で行われた第2次世界大戦では、ルーマニア王国は3国同盟に加盟し、1940年から1944年までヨーロッパ戦線を戦った事実は意外と知られていないのではないのでしょうか。

さて、私は首都ブカレストで生まれ育ちました。とても美しい都市で世界大戦前まで

は東欧の小パリと呼ばれていた程です。戦後の共産党支配により町並みは荒廃しておりますが、凱旋門、国民の館、アテネ音楽堂、統一大通り、ブカレスト大学、国立美術館、大聖堂など美しさを象徴する伝統的な建物が今でもブカレストにはいっぱいあります。

2007年にルーマニアはEUに加盟しました。統一通貨はユーロですが、ルーマニアは現在でも自国通貨レイを使用しています。レイの金利安定など条件が整備され次第、統一通貨ユーロに切り替わる予定です。EU統合は、金融政策の統一や単一通貨により巨大な欧州経済圏を統合させて、世界経済の中核を担うことが期待されております。一方で、それぞれ文化の異なるアイデンティティが埋没しないように、これまでの首都に加えて「欧州文化首都」制度を設け、各国ひとつ選定し自国文化と欧州他国文化の交流を図ることになりました。ルーマニアでは、ブカレストがこれまで同様に経済と政治の中心となる都市、中央部の町「シビウ」が欧州文化首都に選定され、文化の交流を深めていきます。

ルーマニアを一言で表現すれば、まさに「美と健康」の国であり、ワインやアンチエイジングなど欧州では有名です。中世ヨーロッパの皇帝や国王たちが絶賛した白ワインの「コトナリ」は現在も健在。ルーマニア政府が国家プロジェクトとして行い、アナ・アスラン博士が開発した老化予防と治療プログラムの成果として発表し、世界のセレブが愛用している化粧品「ジュロピタル」。肌や細胞の新陳代謝や、ウィルスへの免疫力を高める効果があり、日本でガンに効くとして有名になった「プロボリス」など他にも美と健康に関する商品はたくさんあります。

私は、「美と健康」の国であるルーマニアの文化（文学、音楽、芸術、科学）を欧州圏内のみならず、日本の方々にも伝えていきたいと考えております。日本とルーマニアにおいて交流が深まり相互理解を高めて、文化の異なる人と人との信頼関係を育てていくことが出来れば素晴らしい事だと考えております。

「美と健康」の国 ルーマニア



船越バレンティナ
(ルーマニア)

経歴：ブカレスト大学経済学部 1997卒
目黒区国際交流協会

みな貴重な土曜休日の朝に早起きをして教室に

日本語グループ WAIWAI

代表 水本真美（新宿区）

「日本語グループWAIWAI」は、毎週土曜日に飯田橋を主な拠点として活動しています。レッスンは午前10時から12時まで。初級1から上級まで5つのレベルに分かれたクラスは、学習者・ボランティア合わせ総勢100名を越すこともあります。平日は仕事に勉強にと忙しいメンバーが多く、みな貴重な休日の朝に早起きをして教室に集まってきます。日本語を学びに来る学習者、また教えるボランティアも真剣そのものです。

外国人の方々からは、せっかく日本で生活していても、職場や学校では話す機会がほとんどないという声をよく聞きま

す。WAIWAIでは、そんな方達のためにクラスレッスン（前半1時間）プライベート（後半1時間）いずれも、活動時間中はできるだけたくさん発話してもらえよう心がけています。学習者の中には、初級レベルで入会し、今では上級クラスでがんばっている人もいます。学習者の上達を、ボランティアも同じように喜び、そして達成感をわかちあっています。

活動人数が増えるにつれ、レッスン以外のニーズも多くなってきています。学習者・ボランティアの見学者対応からプライベートの組合せなど、特に授業開始前の時間は準備に大変です。それでも一人一人が責任持って滞りなく活動できて



いるのは、外国の方達の一生懸命学ぶ姿に刺激を受けている部分も大きいと思います。

WAIWAIでは日本語レッスン以外にも、林間学校や世界料理大会など、課外活動も定例で行っています。普段別々のクラスで勉強している仲間達も、レベル・国境の壁を越えて、楽しい交流のひとときを過ごします。

連絡先（見学には必ず予約が必要です）
 学習希望：waiwaigaku@yahoogroup.jp
 ボランティア希望：waiwaibora@yahoogroup.jp

会員団体紹介

Nice to Meet You

“こんにちは にほんご”は2006年4月、練馬区で16番目の初の土曜教室としてスタート。場所は「どうしても」とこだわった区役所東庁舎4階のボランティアセンター会議室。今も第二と第四は半分しか使えない状態での慌しい開講でした。教室を作る際、大きな鍵は「場所」と「人」だといいますが、教室作りが同じ場所で2度目となる私は、楽観的でした。ところが「土曜日」の鍵は、平日とは全く違う色をしていて、次々と想定外の事態に直面することになったのです。

まず、スタッフが集まらない。一緒に始めた3人の仲間は、思いがけない怪我や病気や家に居てと願う家族のために、7月にはみな居なくなりました。友人の紹介で入室した二人が奮闘している間、

nice to meet you

教室を作る際、大きな鍵は「場所」と「人」と「曜日」

こんにちは にほんご

代表 大東 春代（練馬区）

昔の仲間や区の登録制度を頼ってスタッフを探しましたが、殆どの人が「続けたいけど、毎週はちょっと…」と、数回で辞めていきました。

他方学習者といえば、場所に恵まれた土曜日の教室には、多いときは9人もの新入生が訪れました。学習者とスタッフのバランスはますます崩れ、毎回バタバタする結果となってしまいました。



最近になって漸くスタッフも増え、教室は少し落ち着いてきました。毎週の活動を支えているのは、先の二人と区の登録者やTNVNを通して入室したスタッフなど12名ほどで、男性4人を含むとてもいい仲間たちです。

学習者は、会社員や就学生など30名余り、レベルや目的別に分かれたグループで熱心に楽しそうに勉強しています。

でも出入りも激しいので、多くの学習者の多様なニーズに、私達も楽しみつつどう応えていけるかが課題です。出会いを大切に、教室を訪れた人には「ここに来てよかった!」と喜んでほしい。学習者だけでなく、縁あって同じ目的で集まった仲間たちと共に、自分たちもそう思える教室を作っていきたいと思います。

学習者の声

日本語勉強の
 感想について

崔山 / 中国
 さいさん
 こんにちはにほんご (練馬区)



私は2007年3月、妻の母の国日本で妻と一緒に暮らすために、日本にやってきました。2ヵ月後の5月か

ら、練馬区のボランティア日本語クラス「こんにちは にほんご」で日本語の勉強を始めました。

最初の頃は日本語がまだまだでしたので、勇気もないし自信もないし、先生達と話すのがほとんどできませんでした。でも、ボランティア日本語クラスの先生達のお陰で、私は大きな助けをもらいました。

私が日本語についての質問をすると、いつも友達のように優しく教えてください

ます。そして、先生達は教学のために、心をこめて教学カードを作ってくださったり、またいろいろな日本語学習資料を印刷してくださったりします。その上、月に一回の国際交流サロンを通じて、世界各国から来た外国人と日本語でお互いに交流しながら勉強できるいいチャンスももらいました。

今では、日本語で先生や友達と話すと、自信が持てるようになってきました。毎週土曜日の日本語クラスの学び会は、とても楽しみになっています。

私はIT関連の会社で働いていますが、この先まだ十年以上は日本で暮らすつもりです。そのために、家でも一生懸命に日本語を勉強し、近い将来、一級に挑戦したいと思っています。

ボランティアの声

丸山千枝
 グッドナイト日本語 (江東区)

アニメファンに教えられて

「休みの日は、秋葉に行くかアニメを見る」

「古本屋で、おもしろいマンガをさがす」三年前、ようやくボランティアにも慣れてきた頃だった。私は、学習者達との雑談の中で、彼らはビジネスマンの若者達だが、外国人の価値観の多様化や日本の現代文化への関心の高さを、少しずつ感じ始めていた。

そんな時、ドイツからP君が教室に。「中学生の頃、テレビで『ドラゴンボール』を見た。そして絶対この国に行こうと思った。日本語を勉強して、もっと知りたい」彼の明快な動機を聞きながら、アニメの力に心底驚くと共に、彼のような学習者が増えているのでは、と思いついた瞬間だった。

その後、日本の現代文化の浸透ぶりや、アニメや漫画のシーンから、日本の習慣や文化等を学んでいるのが分ってきた。そして彼らは「日本の今の文化」に注目している事も。

一方で、内向きになりがちな彼らの生活に危惧も感じている。又、「日本の

本質的なところを感じて」と願うからか、お茶席や和食に感激する姿を見ると、ちょっと安心したりもする。今では私も、漫画喫茶や現代アート展の敷居が、だいぶ低くなった。

今後、日本が多文化共生社会へと進む中、これらの現代文化が日本語教育にどのように関わっていくのか、とても興味深い。私は、学習者と共に学びながら、それを見続けていきたいと思っている。

P君が帰国する時、黒い卵を2つくれた。1つで5年長生きできるという。私は、2つ食べたので、10年は活動を続けられそうだ。





「国際化市民フォーラムin TOKYO」でパネル展示

表記のフォーラムが2008年2月23日(土) JICA地球ひろば(東京・渋谷区広尾)で開催されました。

TNVN は会場入口に設けられた展示コーナーに参加し、「ボランティア日本語教室ガイド2008 東京」の調査結果から都内の日本語ボランティア教室の分布図と活動状況を示す図表をパネル掲示し、都内の日本語ボランティア活動の現状を報告しました。

本フォーラムは東京都国際交流委員会と国際交流・協力TOKYO連絡会との共同主催で「多国籍の外国人の定住化が進み、総人口の3%近くを占める東京。グローバル化する東京が抱える問題点や課題、国際協力のあり方などを都民や在住外国人・関係団体の人達で共に考え、国際化への認識を深める」を目的に毎年開かれています。

今年は次の6分科会でした。

中越沖地震を振り返って
国際交流協会の現場から
国際協力入門

「TOKYO・災害・外国人」

外国人市民から見た住みやすい東京とは
親子で学ぶ世界の今

テーマは身近な課題で、直接現場での経験を生かした報告に、多数の外国人も加わり熱心な討議が行われました。

(梶村)



ニュースレターの記事を お待ちしております

ニュースレターは3ヶ月毎に発行しています。団体・個人にかかわらず、日本語学習支援・日本語ボランティア活動に関する意見・紹介・情報などの記事を是非お寄せ下さい。掲載記事についてのご意見・ご希望も歓迎します。

TNVN NL編集担当宛にお送り下さい。

TNVN スタッフ募集!!

TNVNの事務局スタッフ、ニュースレター編集員となって現スタッフと一緒にボランティアでご協力いただけませんか。TNVN事務局までご一報をお待ちしています。

TNVNへの入会をお待ちしています

詳細はTNVN事務局まで「活動・入会案内」を郵便でご請求下さい。(送料90円切手同封)

Column

❖ Iさんのボランティア日記

知り合いから近所の夜間中学校のスピーチ大会に誘われました。夜間中学は何年前かに日本語ボランティアを始める際に、参考になることがあればと一度見学に行ったことがあります。

この夜間中学の生徒の国籍は、日本、中国、韓国、フィリピン、タイ、ネパール等です。スピーチは1人2分程度の持ち時間で、テーマは「学校で思うこと」「将来の夢」等についてです。会場の広々とした体育館にはストープが1台、赤々と燃えていました。

多くの生徒の中には茶髪の生徒や車いすの生徒もいます。1人ひとりのスピーチが終わるとクラスメートから拍手が起きます。生徒の思い

のこもった発言が熱く伝わってきます。16歳～60歳代までの老若男女が一同に「和気あいあい」としてスピーチを行っています。

先生にお話を伺っていると、東南アジアの言語に堪能な教師や日本語指導の専門的な教師の育成、若年生徒への進学指導や不登校生徒への対応等が課題としてあるそうです。

しかし、冬の夜の教室で机に向かう生徒さんの姿勢をみると、そうした課題は今後解消されていかなければならないと考えつつ、また自身のボランティアも必要とされる限り続けていこうと思いました。

(い)

TNVN東京日本語ボランティアネットワークはボランティア日本語学習支援活動を行っている団体のネットワークです。TNVNの会員はそれぞれ地域での日本語学習支援活動を通し、言葉のため日常生活に不自由を感じている外国人などを、隣人として支援しています。TNVNは会員への情報提供・会員相互の情報交換、および外部との情報受発信を行い、活動の活性化を図ります。

東京日本語ボランティア ネットワーク事務局の活動

日時：毎週金曜日

第1、第3、第5 金曜日 / 午後2時～4時
第2、第4 金曜日 / 午後2時～6時

場所

東京ボランティア・市民活動センター
JR、地下鉄(東西線・有楽町線・南北線・大江戸線 - 出口B2b)飯田橋駅下車
セントラルプラザビル 10F ロビー

日本語ボランティア相談窓口

日本語ボランティアの活動についてのご相談・ご質問にベテランスタッフがお応えしています。電話でご確認の上、気軽にお越し下さい。また、メールでのお問い合わせにもお応えしています。

ご意見もお待ちしています。

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1
東京ボランティア・市民活動センター
メールボックス No.4

TEL : 03-3235-1171

(呼出：金曜日活動時間帯のみ)

FAX : 03-3235-0050

E-mail : webadmin@tnvn.jp

URL : <http://www.tnvn.jp/>

郵便局払込

口座番号：00100-1-719259

加入者名：東京日本語ボランティア・ネットワーク

新会員紹介

正会員

小岩日本語クラブ(江戸川区)

会員数(2008年1月31日現在)

正会員：77団体 協力会員：38名

賛助会員：4団体

編集/岩佐 幹彦、大木 千冬、
岡田 美奈子、小川 伶子、梶村 勝利
床呂 英一、林川 玲子、福井 芳野
レイアウト/鶴田 環恵